

自治体SDGsモデル事業 「あかし支え合い循環型社会」構築事業

子午線上に建つ
明石市立天文科学館

時のまち

世界最長
明石海峡大橋

海のまち

愛されるブランド
明石鯛

歴史のまち

明石城は築城400年

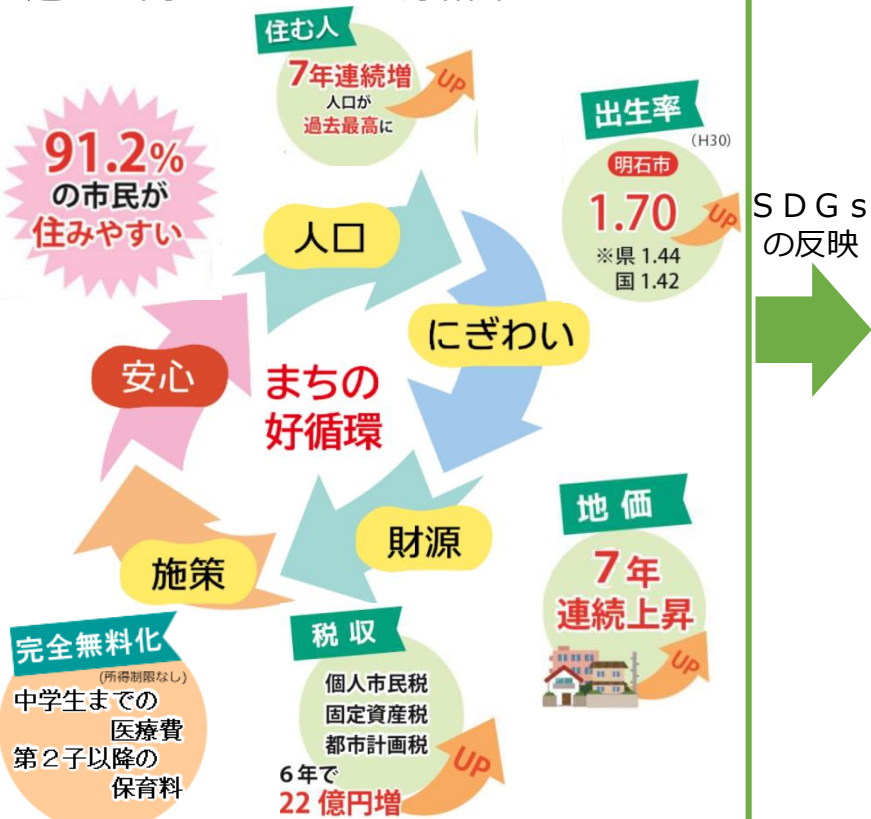
先導的共生社会
ホストタウン
兵庫県明石市

明石市が目指す将来像：SDGs 未来安心都市・明石 ～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～

「やさしいまち」とは、安心して暮らすことができ、未来に希望を持てるまちです。
SDGsをまちづくりの基本とし、「誰もが住みたい・住み続けたい」と思う持続可能なまちを実現します。

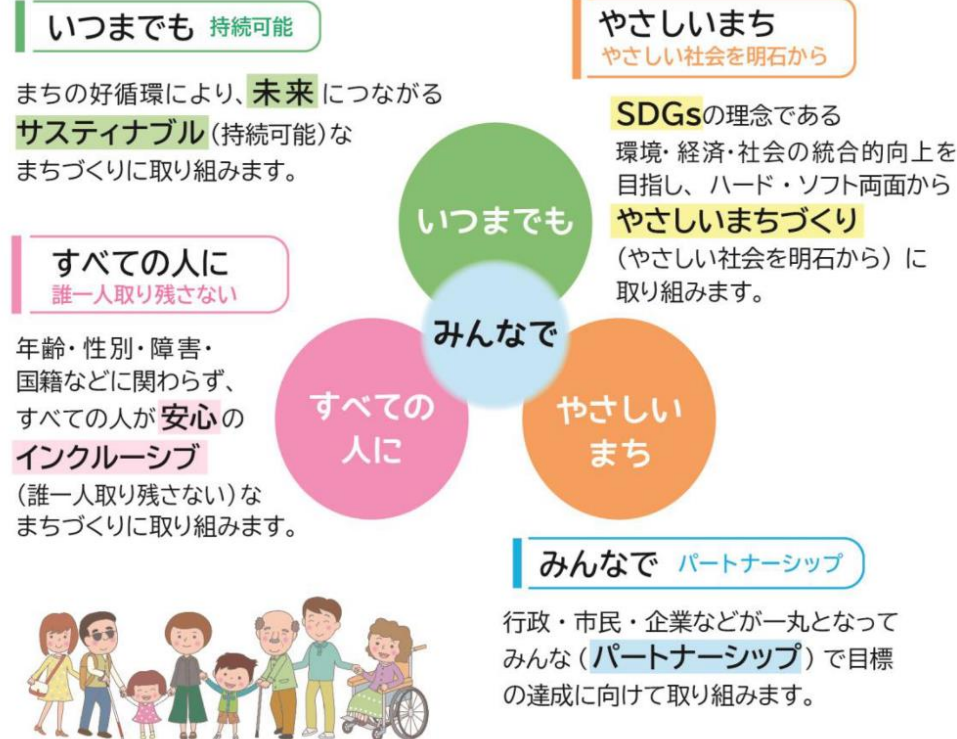
まちの現状

「こどもを核としたまちづくり」の重点的な推進により、人口増や地価の上昇、税収増となり、更なる施策展開が可能に。さらにまちの魅力が向上するという好循環に。



2030年のあるべき姿

SDGs 未来 安心都市・明石へ いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで



自治体SDGsモデル事業：「あかし支え合い循環型社会」構築事業



モデル事業の概要（経済面の主な取組）

人材不足・後継者不足への対応

○明石市事業承継ネットワーク

[2019年11月25日連携協定締結]

市内金融機関、明石商工会議所、工業団体など12団体が加入

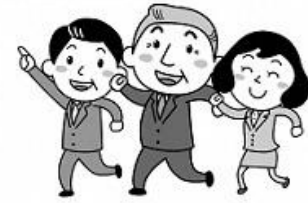
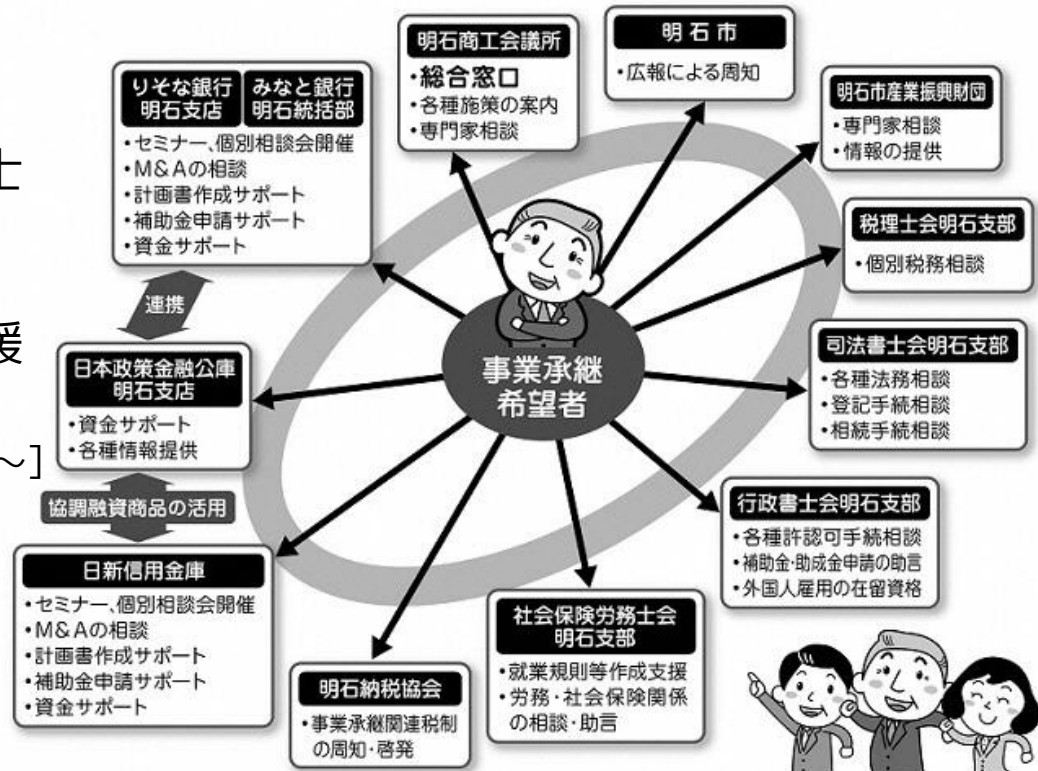
業種の枠組みを超え、事業承継を支援

○高齢者の介護職就労支援 [2019年度～]

資格取得助成（最大9万円）

介護職就職奨励金（一人2万円）

高齢者の活躍と人材不足への対応



商店街の活性化

○SDGs インクルーシブ商店街補助金 [2020年度～]



面的なバリアフリー化やユニバーサルマナー研修などインクルーシブ社会の実現に向けた取組に対する補助（上限50万円）
[補助要件] 障害当事者等からの意見聴取など

商店街の活性化と多様な人の利便性の両立

モデル事業の概要（社会面、環境面の主な取組）

社会面

こども・子育て家庭の支援

- こども食堂の全28小学校区実施(43か所)
 - ・実施団体の支援
 - 開設・運営マニュアル、運営助成金
 - ・フードドライブによる食材の活用
- 中学校給食の完全無償化(所得制限なし)
[2020年度~]



すべてのこどもをまちのみんなで応援

地域での支え合いの促進

- 地域総合支援センターを拠点とした住民同士の支え合い
 - ・分野横断的な相談受付窓口
 - ・子育てや介護、障害など同じ境遇を持つ住民同士や世代間の交流
(高齢者サロンなど)



住民主体の支え合い体制や新たな福祉コミュニティの構築

環境面

プラスチックごみの対策

- 官民連携によるマイボトルの普及、ウォータースタンドの設置
[2020年度~予定]
- ・民間事業者が、市内公共施設にウォータースタンドを設置
- ・マイボトル持参を呼びかけ



ペットボトルのごみを削減

漂流・漂着ごみの対策

- 漁業者と連携した回収・処分
[2020年度~]
- 漂着ごみのほか漁業活動で回収した漂流ごみを処分できる体制の構築



水産資源の維持



人にも、環境にも、地域経済にもやさしい ～おむつの宅配&リサイクル事業～

見守り × リサイクル × 経済支援

- 0歳児 ・ 子育て経験のある女性配達員による宅配・見守り
・ 宅配時の食品等の回収（フードドライブ）
- 高齢者 ・ 在宅介護世帯への宅配・見守り
※地域の流通・配送業者との連携
- 紙おむつリサイクルの調査・研究
- ふるさと納税（返礼品第1位：P&Gおむつ）を財源活用

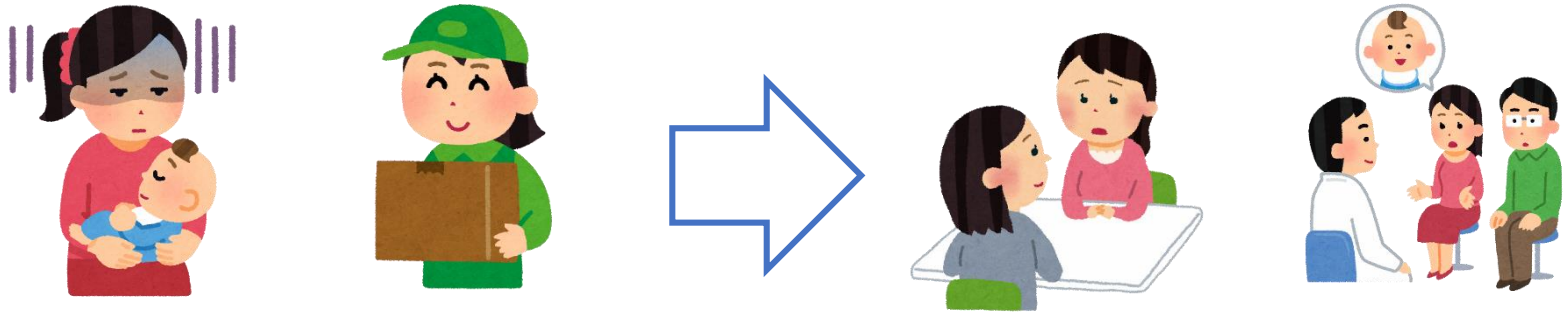


三側面の効果

社会：社会的孤立の解消（子育て、介護を社会で支援）
環境：ごみの削減（食品ロス、プラスチックごみ等の減少）
経済：中小事業者の活性化
（流通・配送業者の活性化、子育て世帯等の消費拡大）

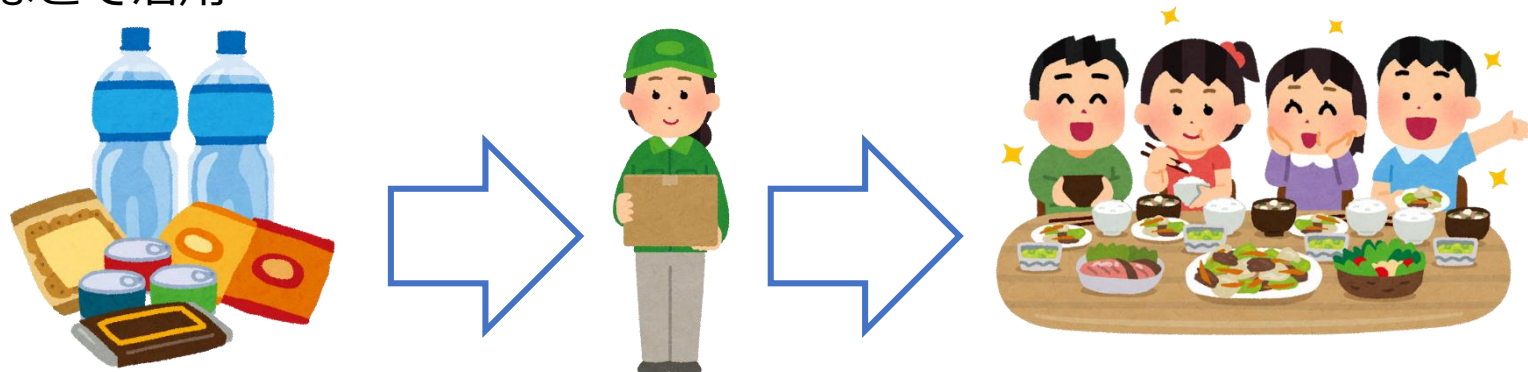
● 0歳児 ※地域の流通・配送業者との連携

- ・子育て経験のある女性配達員による紙おむつ宅配・見守り [2020年度～予定]
見守りと子育て支援情報などを提供し、産後ケアをはじめ、必要な支援につなげ、安心して子育てできる環境を整備



- ・宅配時の食品等の回収（フードドライブ） [2021年度～予定]

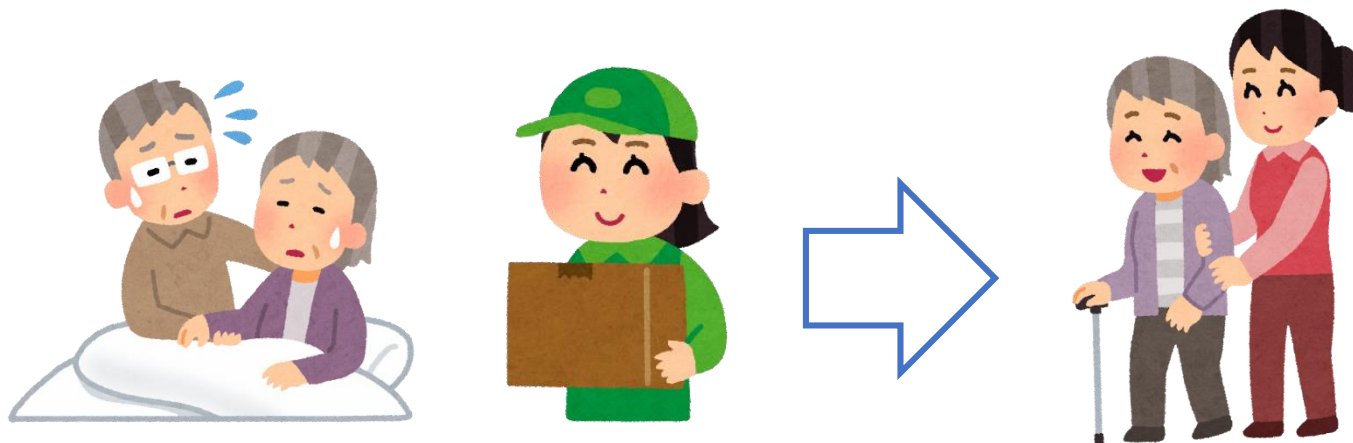
家庭への紙おむつ宅配時に、不要となった食品などを回収し、こども食堂などで活用



● 高齢者 ※地域の流通・配送業者との連携

- ・在宅介護世帯への宅配・見守り [2020年度～拡充予定]

配達事業者が異変を感じれば、市に連絡を行い、必要な支援につなげるなど、介護を社会で支える



● 紙おむつリサイクルの調査・研究 [2020年度～予定]

プラスチックを原料に含む紙おむつのリサイクルについて、事業者と連携した調査・研究

⇒プラスチックごみの削減



経済、社会、環境の各側面の相乗効果（統合的取組によって生じる相乗効果）

三側面をつなぐ統合的取組

経済⇔環境

○経済→環境
事業者のSDGsへの取組促進
（環境意識向上）により、事業系
ごみの排出量抑制とリサイクルの
推進

○環境→経済
海洋プラスチック削減の取組促進、
水産資源保全による漁獲量の回復

経済⇔社会

○経済→社会
子育て経験のある
女性の雇用機会の拡大、
社会参加の促進

○社会→経済
子育て世帯の転入増加・定住性の
向上による消費拡大

社会⇔環境

○社会→環境
フードドライブを端緒として、
食品ロス削減への市民の取組が拡大、
家庭系ごみの排出量抑制

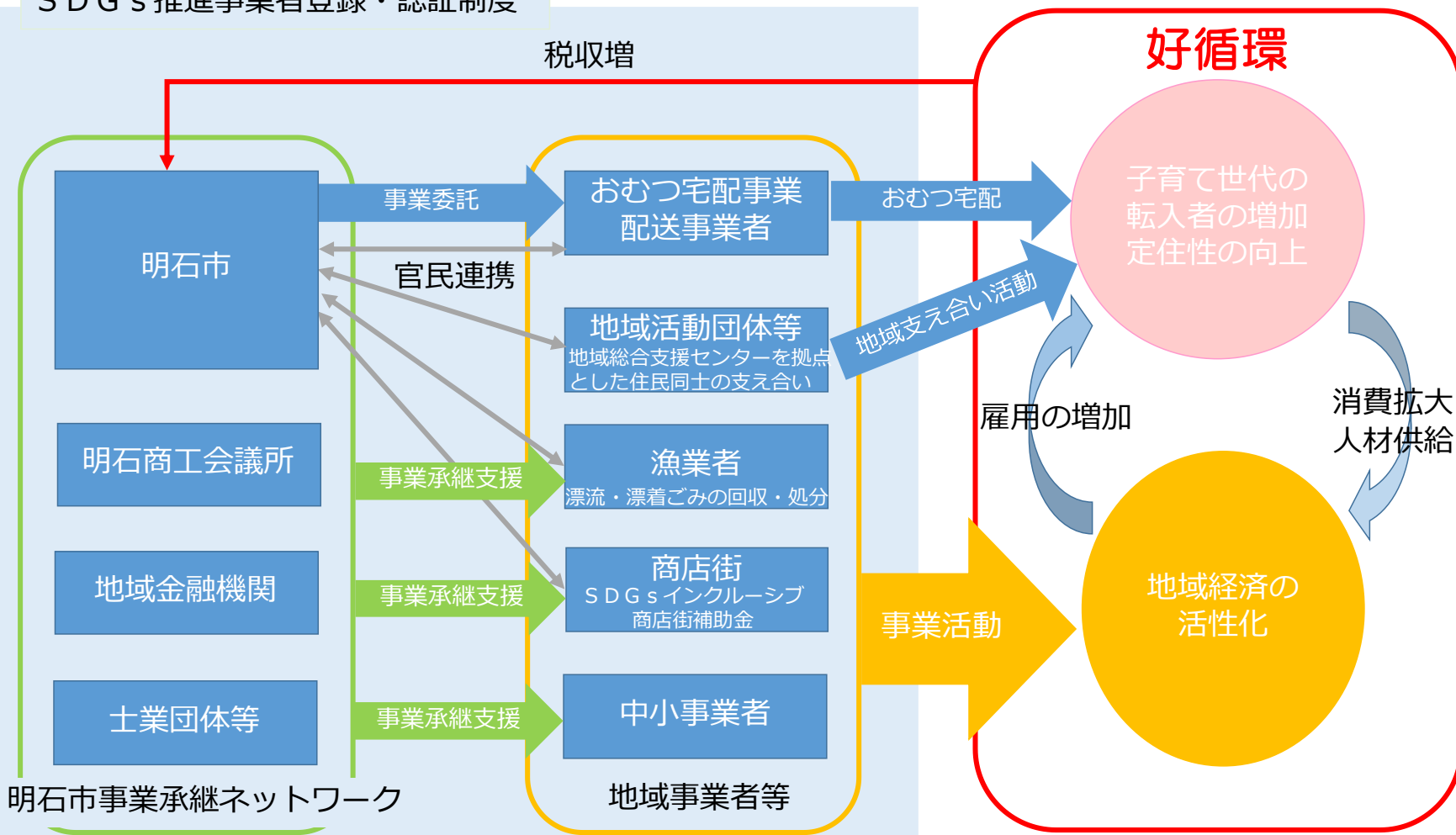
○環境→社会
市民の環境意識向上により
リサイクル活動が拡大、
地域での支え合いが促進

自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

[事業スキーム]

SDGs推進事業者登録・認証制度

税収増



[将来的な自走に向けた取組]

- ・ふるさと納税返礼品第1位はP&Gの紙おむつ。
モデル事業の取組内容とセットでPR ➡ 寄付額の拡大・財源活用
- ・好循環の拡大による税収増 ➡ 財源確保、事業の持続可能性が向上